



白河二中だより

NO. 12
2023. 6. 23
白河市立白河第二中学校
発行責任者 小野 聡

全国学力・学習状況調査から

4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果が届くのは7月末の予定ですが、本校で独自に分析をしてみました。国語科ではある特定の漢字の間違ひが多く見受けられました。おそらく、我々も、授業やノートを提出させた時、あるいはデイリーノートを確認した際など、間違った漢字を目にしてきたのではないかと思います。今後、見逃すことなく、間違ひに気づいたらその場で伝えていきたいと思っています。保護者の皆様も、子どもの書いた文章などを見る際は、できる限り漢字一字一字確認していただければと思います。

さて、国語の問題の中には、次のような二つの文章を読んで、「自分の本の読み方について考える」問題がありました。二つの文章と子ども達の考えをお読みください。

【A】同じ本でもいつも読むたびに新しい発見があります。今の自分が前に読んだときとは違うと感じられるというのも読書の楽しみの一つだと思います。(岸見一郎「本をどう読むか」より)

【B】ある作家の全集を読むのは非常にいいことだ。どんなにいろいろなことを試み、いろいろなことを考えていたかが解る。(小林秀雄「読書について」より)

- 私は、小学生の時、内容が難しく、よく理解できない本があった。しかし、最近になって、その本を読み返すと以前と比べて内容が理解できるようになっており、自分の成長を感じられた。そのため、私は、これからも同じ本を再度読み、自分の成長を感じたいと思う。
- 私は太宰治の小説を読んで同じことを思った。例えば、人間失格では彼の人生が細かく書かれている。彼の本を読んだおかげで、人生いろいろなことがあると知ることができた。そのため、好きな作家の本を読んで、新しい思想や言葉を知りたい。

SDG s の精神で

SDG s の17の指標の一つに「つくる責任 つかう責任」があります。その中には「これからのファッションを持続可能に」という考え方もあり、企業では環境の負荷を少しでも低減させるための様々な取り組みがなされているそうです。

本校においても、3年生が使用してきた制服やジャージ、カバン、また上履きなどを寄付していただき、年度途中で転校してきた生徒へ譲るなど活用させていただければと思います。是非、ご家庭でご検討ください。



上の文章は、昨年度の「白河二中だよりNo.47」の記事です。子ども達にはSDG s の精神、衣類を含めて、物や資源を大切にしたいという願いを込めた文章です。

現在の3年生の保護者の皆様には、卒業後、ご協力いただくこととなりますが、ご家庭の中で、あるいは、お知り合いの中で、本校を卒業し制服等をお譲りいただけるご家庭がありましたら、お声かけいただければと思います。新校舎への引っ越しも完了しましたので、いつお持ちいただいても大丈夫です。まずは、お電話いただけますとありがたいです。なお、お譲りいただける場合、それぞれの品が、ある程度の状態のものをお願い致します。

なお、現在、PTAの役員会を中心として、「制服の見直し」が話題に上っており、先日、臨時本部役員会を開催し、生徒、保護者の皆さんにアンケートを実施することとなりました。来週の30日(金)から調査を行いますので、どうぞご協力をお願いします。